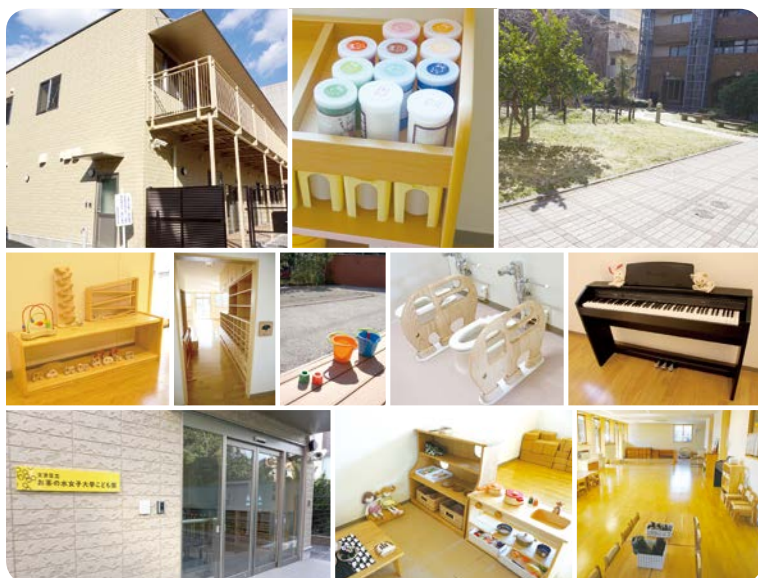


# キャンパス点描

## 文京区立お茶の水女子大学こども園が開園しました ●●●●●●●●●●



こども園の外観・内観の様子

2016年4月1日(金)、文京区とお茶の水女子大学は、認可保育所に幼稚園機能を備えた保育所型こども園を、南門横に開設しました。このこども園は、待機児童の解消とともに、教育・保育の実践及び研究を通して、誕生から死までの生涯発達を見据えた、教育・保育カリキュラムの開発と実践を行うことを目的としています。

乳幼児期の保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。0歳から小学校入学までの時期を共に過ごすこども園での生活におけるキーワードは「つながる」です。「人とつながる」「遊びがつながる」「地球とつながる」「家庭とつながる」「地域とつながる」、5つのつながりを大切にして、子どもたちが豊かに育つ保育を構築していきます。

### <保育目標>

- 食べる、眠る、遊ぶ生活を過ごし、心もからだも健康な子ども
- 様々な人との関わりを重ね、自分も友達も大切に子ども
- 「やってみたい」という気持ちを持ち、じっくり遊ぶ子ども
- 自然や文化との出会いの中で、心を動かし表現する子ども

### <本園の使命>

- 区民への質の高い保育サービス・幼児教育の提供
- こども園の保育内容についての研究開発と発信
- 実習やインターンシップの場として大学生の受け入れ

こども園の定員は0～5歳児93名です。初年度は5歳児を募集せず、0～4歳児71名を募集しました。満開の桜に祝福されて、子どもたちの笑顔あふれる生活がスタートしました。園内での生活を基点としつつ、キャンパス内に出かけ、豊かな自然に触れたり体を動かして遊んだりすることや様々な人との出会いを大切にしていきます。新しく誕生したこども園を、どうぞよろしく願いいたします。



握手を交わす室伏さきみ子学長と成澤廣修文京区長

## お茶の水女子大学賞 第3回湯浅年子賞及び第1回黒田チカ賞授賞式を挙行了しました ●●●●●●●●●●



2016年1月20日(水)、お茶の水女子大学賞 第3回湯浅年子賞(以下湯浅賞)及び第1回黒田チカ賞(以下黒田賞)授賞式を挙行了しました。

湯浅賞は、優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者湯浅年子博士を称え、黒田賞は、天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性化学者として活躍した黒田チカ博士を称えて、それぞれ制定されました。

湯浅賞は御手洗容子氏(物質・材料研究機構グループリーダー)の「高温構造材料に関する基礎研究及び女性研究者支援に対する貢献」に対して金賞が贈られました。

## 新しい学生会館 Student Commons が開館しました

本学の学生会館は昭和35年(1960年)に厚生補導施設(延べ面積884㎡)として開館し、課外活動・各種サークル活動の拠点となる部屋を有する施設として多くの学生に利用されてきましたが、この度建物の老朽化に伴い学生のニーズを踏まえ安全・安心な課外活動空間を確保することを目的として新しい学生会館 Student Commons を建設いたしました。平成27年6月から旧学生会館の取り壊しを行い、並行して新しい Student Commons の建設に着手し平成28年2月に竣工、3月から学生が利用を開始しています。

Student Commons は2階建てで延べ面積928㎡、1階にはラウンジ、事務室、作業室(印刷)、給湯室、自販機コーナー、アトリエ1~3(小会議室)、和室、德音祭実行委員会室を配置しました。2階にはダンスやミニ講演会ができるマルチパーパス1(大集会室)とマルチパーパス2(中集会室)を備え、この他に音楽が楽しめるスタジオ1~2(防音室)を配置しています。南側は

全面ガラス張りで開放感に溢れた空間となっています。この装い新たな空間が、今までにない活動スタイルや発想を生むきっかけになればと思います。



テープカットの様子



外観

全学生・教職員の皆さん、サークル活動だけでなく自主ゼミの拠点やゆっくり談笑できる交流の場としても、ぜひ Student Commons を活用ください。



マルチパーパス1(大集会室)

また、黒田賞は五十嵐悠紀氏(明治大学専任講師)の「コンピュータを用いたインタラクティブ3次元形状モデリングに関する研究」及び栢沼愛氏(筑波大学助教)の「量子計算化学による金属錯体の光異性化反応機構の解明に関する研究」に対してそれぞれ贈られました。

式典では湯浅年子ラボラトリー幅所長ご臨席、学内教職員列席のもと、室伏学長から賞状を湯浅賞の副賞を幅所長、黒田賞の副賞を鷹野教授(黒田賞選考委員)からそれぞれ授与されました。

また、学長、幅所長からお祝いの言葉がかけられ、受賞者の記念講演が行われました。

